

報告事項イ

第1回鳥取西高等学校整備のあり方検討会の結果概要について

第1回鳥取西高等学校整備のあり方検討会の結果概要について、別紙のとおり報告します。

平成22年8月19日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

第1回鳥取西高等学校整備のあり方検討会の結果概要

教育環境課・文化財課
平成22年8月19日

県立鳥取西高等学校の整備に向け、「文化財の保存と活用」、「生徒の安全確保」、「教育環境の改善」の観点から、様々な分野の方に意見を聞き、整備の方向性を検討するため、鳥取西高等学校整備のあり方検討会を設置し、第1回検討会を下記のとおり開催した。

1 日時等

日 時：平成22年8月2日(月)午後1時30分～3時30分まで

場 所：県庁 議会棟3階 特別会議室

出席者：検討会委員10名(濱田委員は欠席)

県教育長、教育総務課長、教育環境課長、文化財課長 ほか

2 第1回の趣旨

各委員に、現状と問題点等の共通認識を図る。

3 第1回検討会を終えての道上座長のまとめ

今回は以下について準備し、議論を深めていきたい。

- ・これまでの文化庁とのやりとりの経緯の説明。
- ・現行案を許可できない理由について、文化庁担当者から直接話を聞く。
- ・鳥取市の史跡の全体整備計画の説明。
- ・各方面の関係者の意見を尊重しながら、ソフトランディングする方向性を検討するための資料を事務局で作成。

4 意見等

【学識経験者】

「文化財の保護」の意味や「史跡を利用する」ということへの認識が不十分である。

鳥取市の「史跡保存整備基本計画」中の「当面併存を許容」し、「将来的には移転を含め、『あり方』を検討する」の趣旨の確認。

文化庁が現行案を許可できない理由の詳細について説明がほしい。

平成15年5月以降の経緯にみる文化庁の発言のブレと県の対応。

今回、このような問題となった原因の一つは、関係者の共通認識が図られていなかったこと。意思統一し、史跡を活かして、街を活性化していきたい。

各方面の意見を尊重し、整理しながら、ソフトランディングできる方向性を事務局で作成してほしい。

鳥取市が進めている史跡全体の整備計画も説明してほしい。

【学校関係者】

文化庁との協議の経緯があり、今になって改築ができないとする文化庁の意見はぶれている。文化庁、県や市も地域主権の考えに沿って、ぶれない方向で整備を検討してほしい。

移転は長く議論されているが、現在地以上の適地が見つからなかった。当面は共存で進めないか。

文化庁とのやりとりの経緯も示してほしい。

学校を管理する者としては、耐震性のない建物の中で、生徒の安全確保はできない。長期的な整備とは切り離して、最低限、耐震補強はしてほしい。

5 検討会委員(11名)

学識経験者

池本 百代【鳥取女性中央会幹事、まちづくりレディース鳥取会長】

岡田 昭明【鳥取大学名誉教授、県文化財保護審議会会長】

坂出 徹【鳥取商工会議所専務理事】

錦織 勤【鳥取大学教授、県文化保護審議会部会長】

濱田由紀子【鳥取県弁護士会副会長】(欠席)

東樋口 護【鳥取環境大学副学長】

道上 正規【(財)とっとり地域連携・総合研究センター理事長】(座長)

学校関係者

青木 節也【鳥取西高等学校校長】

池内 勝彦【鳥取西高等学校PTA会長、同窓会副会長】

松下栄一郎【鳥取西高等学校同窓会副会長】

鳥取市

楮原 伸一【鳥取市教育委員会事務局次長】

6 次回開催予定

平成22年9月9日(木)13時30分～

県庁 第34会議室(第2庁舎4階)